

受けて
よかった

組合員健診



早期発見、早期治療で健康を！

私事、昭和12年生まれ八十歳
目前の後期高齢者です。

この年齢はがん適齢期とも言
われ、私も例にもれず様々なが
んから熱い視線を受けました。

そのひとつは前立腺がんで
す。一年前にもりやま診療所で
受けた組合員健診で前立腺が

んの疑いがあり、がんセンター
を紹介されてがんが確定しまし
た。私はがんに対する知識がな
いに等しいですが、一度生まれ
た種は自然に治ることはなく、
また、手遅れになる怖さも知っ
ています。名古屋記念病院でホ
ルモン注射、抗がん剤、睾丸切
除をしました。

マーカー数値が下がったおかげ
で新たに働くことができまし

たが、勤めているうちにまた少
しずつ数値が上がってきまし
た。この時点で放射線か手術か
と言われ、放射線治療を選びま
した。八事日赤と名大で36回の
放射線治療を終え、現在は三ヶ
月に一回検査で通院していま
す。

その後、又タストレスからか
組合員健診で血液検査に異常が
あり、記念病院で脾臓に問題が
あると指摘されました。手術の
結果、がんではなく安心しまし
たが、これを放置すると言われま
なくがんに移行すると言われま
した。毎年組合員健診を受けて
早期発見、早期治療で健康を！

もりやま支部

内山 萬寿雄さん